

城山公園の再整備事業について

(仮称) ながのこども館整備事業の状況

都市整備部 公園緑地課

プロポーザル方式による事業者選定以降の経緯

- 令和4年2月 守谷商会・乃村工藝社特定建設工事共同企業体が選定
(仮称) ながのこども館整備事業 設計及び施工者選定委員会による。
- 令和4年4月 第1回 設計検討委員会
検討委員はプロポ選定委員に、児童発達支援の専門家と少年科学センター館長を加えた6名
プロポーザル時の提案プランについて説明を受ける。
- 令和4年6月 第2回 設計検討委員会
ゾーニング・動線計画、エリアごとの対象年齢想定、遊具イメージの確認
- 令和4年7月 市長・副市長へ、事業者による経過説明
(株)乃村工藝社は、130年余りの歴史を持ち、全国各地の博物館や美術館など、ディスプレイデザイン会社のトップランナーとして数多くの実績を持つ企業であり、最近の実績として名古屋市科学館、浜松こども館、京都鉄道博物館、藤子・F・不二雄ミュージアムなどがある。
- 令和4年10月 第3回 設計検討委員会
ゾーニング、動線計画、主要設備が概ね決定
- 令和4年11月 第4回 設計検討委員会
細部の調整、主要施設名称等が決定
基本設計完了

目 的

- ・天候に左右されずに、体を動かし、頭を働かせることができる屋内施設
- ・子供たちの生きる力を育みながら、だれもが居心地よく癒される空間をつくる
- ・体を動かす遊具とデジタル系の設備の併設により、バランス感覚の取れた人間形成を目指す

各施設の主なねらいや配慮した点

【森のたんけんひろば】 【宇宙アスレチック】

- ・文部科学省の幼児期運動指針の「36の動き」（立つ、歩く、持つ等、幼児期に身につけておきたい基本動作）や、「感覚統合」（視覚、聴覚、バランス感覚など複数の感覚を整理したりまとめたりする脳の機能）の考え方を取り入れた遊具の設置

【科学と創造のひろば】

- ・既存の科学展示物の一部を残すことに加え、デジタルテクノロジーの活用を多くの子供たちが交流する中で体験することにより、生きる力を育むことに加え、デジタル技術の習得も可能な施設

【全体】

- ・市産木材の活用やユニバーサルデザインへの配慮

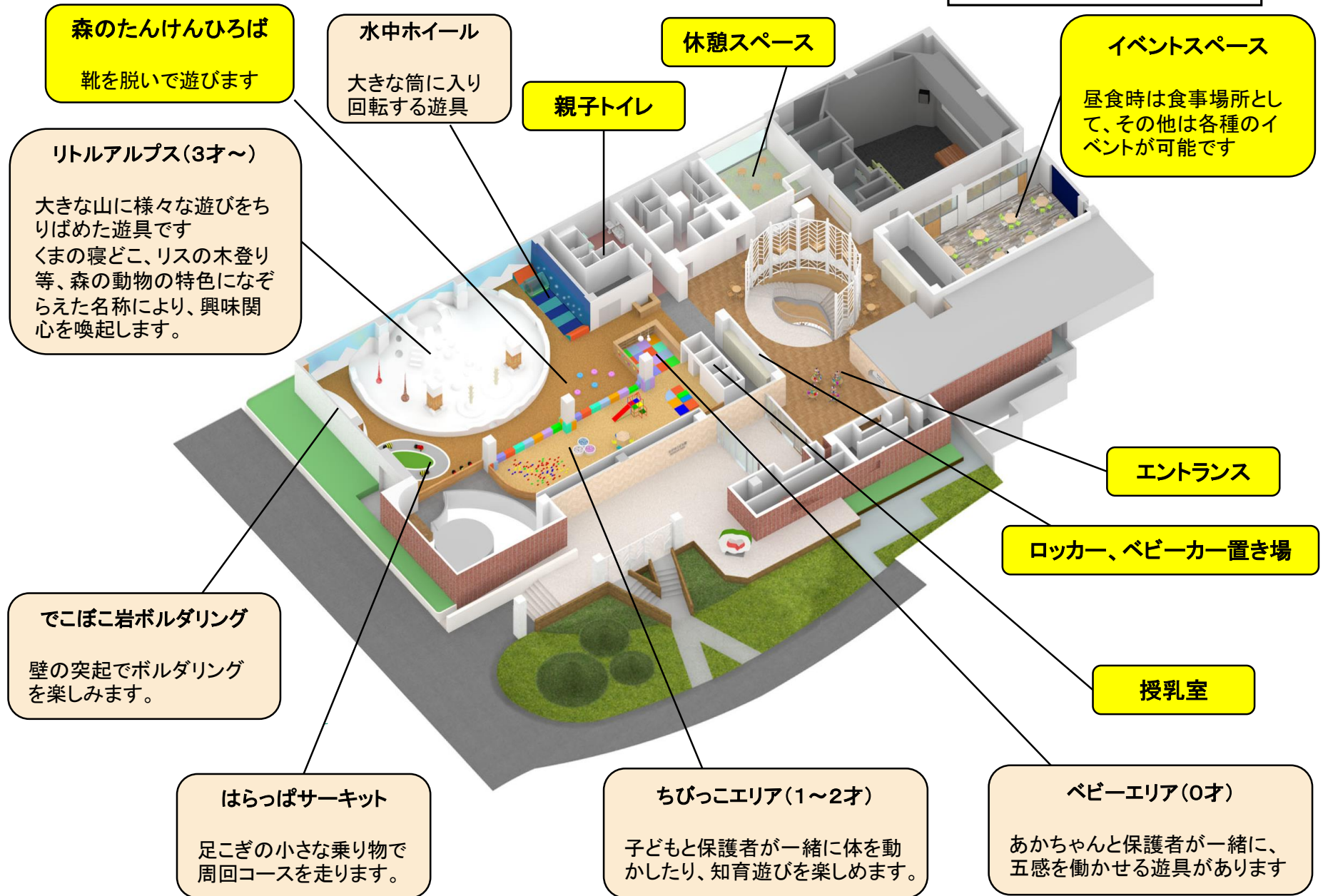
財 源

以上のことから、地方創生への高い効果が期待できると判断し、財源として、内閣府所管の補助金である「地方創生拠点整備交付金」の交付申請を行っている

(仮称) ながのこども館イメージ図 (1階)

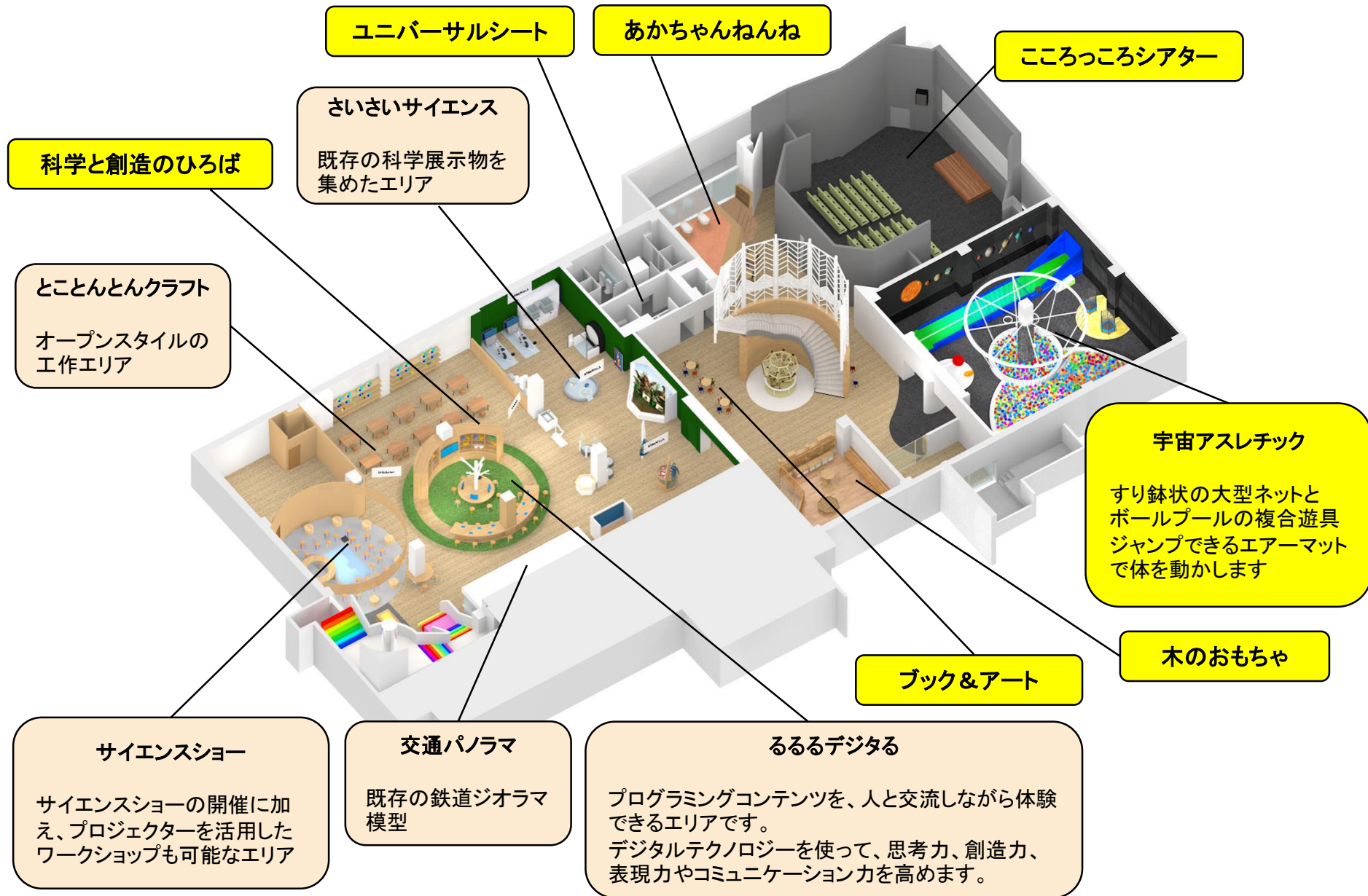
令和5年2月8日 臨時部長会議
都市整備部公園緑地課

4



(仮称) ながのこども館イメージ図 (地下1階)

令和5年2月8日 臨時部長会議
都市整備部公園緑地課



(仮称) ながのこども館 予定スケジュール

令和5年2月8日 臨時部長会議
都市整備部公園緑地課

